

株式会社アントワークス

東京都中野区

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

グローバル人材採用、積極的な海外展開と インバウンドの取込みで大幅成長を実現

名物の「すた丼」は同社が「サッポロラーメン」として創業した後、まかない飯として生まれた。その後同社は「伝説のすた丼屋／名物すた丼の店」、「デンバープレミアム」、「大衆食堂にぎわい満腹食堂」、「伝説のステーキ屋」、「崑久好(きくよし)」の5業態、計126店舗(2018年12月現在)まで成長し、この10年間で売上の伸びは700%を超えている。2022年までに株式上場を達成し、年商200億円の企業に成長することを経営ビジョンとして掲げている。

- 所在地 東京都中野区中野3-33-33
インツ中野ビル5F
- 電話/FAX 03-6304-8412 / 03-6304-8413
- URL <https://antoworks.com/>
- 代表者 代表取締役社長兼CEO 早川 秀人

- 設立 1971年
- 資本金 4,500万円
- 従業員数 232人



需要獲得

サービス

「1年に1ヶ国」の海外進出戦略

同社は「伝説のすた丼屋」を米国3店舗で運営している。幅広い顧客層のニーズに応えることで再来店率を上昇させる成功モデルを用いて、現在はヨーロッパやアジアにも展開する準備を進めている。

また、ジェトロが開催しているミッション等にも積極的に参加し、市場調査を行うだけでなく、可能性がある国には社長自らが現地調査に赴き、その市場性・進出可能性を即決するなど、1年に1ヶ国の進出を目標に進出先候補を調査している。



プレイノ店(アメリカ・テキサス州)

インバウンド需要の取込みと国産商品へのこだわり

外国人の観光客が多く、インバウンド需要が見込める店舗ではメニューに英語・中国語・韓国語を併記をしている。

また、近年は安価な外国産の米が飲食業界に浸透している中、同社は国産米にこだわり、国内の全店舗で国産米を100%使用している。さらに十勝豚丼専門店「崑久好(きくよし)」では、北海道産の食材にこだわり、北海道の美味しい食材を使った料理の提供をしている。



国内でのインバウンド対応

グローバル人材の採用・育成

今後同社が海外戦略を推進していく上で、グローバル人材の採用と育成は最重要課題の1つである。中長期的な雇用の安定化と社内の国際化のために、同社は国籍を問わず、既存の社員にはない能力や感性を有するグローバルな人材の積極的な採用を進めている。グローバル人材の採用活動を進めていくにあたり、多彩な語学能力や国際感覚に優れた人材が入社することにより、組織への刺激や活性化、ひいては今後の持続的成長や発展に大きく寄与してくれると同社は期待している。



グローバルな人材採用